

Ⅲ ファシリティマネジメントの推進

1 公共施設の有効活用

(1) 公共施設の最適化・長寿命化

取組内容	公共施設マネジメント推進計画に基づく公共施設の最適化			
概要	<p>当市の公共施設は、建設後の経過年数から老朽化が進み、一斉に更新時期を迎えることとなり、日常の維持管理費に加え、保全や更新等に多額の費用が必要となる。また、少子高齢化の進行による人口構造の変化やライフスタイルの多様化により、公共施設へのニーズ、利用実態は大きく変化してきている。そのため、市民が安心して利用できる状態で維持していくためには、公共施設の現状をハードとソフトの両面から把握し、「選択と集中」の観点から、計画的な更新・統廃合等を図り、将来必要となる修繕・更新費用を最小化・平準化していくことが必要となる。</p> <p>公共施設の保有状況(2015.11末現在) 128施設 280棟、総延床面積 322,953.97㎡</p>			
課題	<ul style="list-style-type: none"> 大規模改修実施の目安とされる築30年を経過した建物が半数以上を占めている。 今ある施設を同規模のまま更新した場合、今後必要となる更新費用は、40年間で1,345億円、1年あたり約33.6億円と試算されている。 			
行政改革の必要性	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設の更新に必要な費用(約33.6億円/年)は、H22～H26年度の投資的経費(約20.7億円/年)の約1.6倍に相当する。厳しい財政状況を踏まえると、全ての公共施設を同規模のまま維持することは困難であるため、計画的な更新・統廃合等により、将来必要となる保全・更新費用を最小化・平準化することが求められる。 			
取組により得られる効果	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設の長寿命化や総資産量の縮減により、財政負担の縮減・平準化を図れる。 異なる機能を併せ持つ施設や、同じような機能を集約する施設など、施設のあり方を柔軟に考えることで、社会情勢の変化や市民ニーズの変化に対応できる。 			
指標名/現状値	公共施設の延床面積/322,954㎡ (40年間で28.1%の削減)			
各年度の取組	令和元年度	令和2年度	令和3年度	担当課
	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設マネジメント推進計画の策定 公共施設の最適化 	<ul style="list-style-type: none"> 個別施設計画の策定 公共施設の最適化 	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設の最適化 	財政経営課 関係課
数値目標	320,693㎡ (年0.7%削減)	318,448㎡ (年0.7%削減)	316,219㎡ (年0.7%削減)	

